プログラミング言語実験・C言語 第3回課題レポート

I 類 メディア情報学 氏名:LEORA DAVID 学籍番号:2210745

2024年05月02日

課題5 (コンピュータ大貧民プログラムの実行状況のスクリーンショット)

大貧民サーバを起動し、大貧民標準クライアント($tndhm_devkit_c-20180826.tar.gz$ に同梱されている方)を 5 台起動する。サーバの実行画面(クライアント名が default と表示されている対戦画面)とグラフの画面(棒グラフか線グラフ)の計 2 画面のスクリーンショットを撮った。

課題5の実行方法

まず、ターミナルを起動して、「コンピュータ大貧民の実行」ページの通りの手順でサーバを起動した。各フォルダから configure を行い、make を行った。実行するには、以下のコマンドを実行する。ポート番号は 52745 とした。

1 \$./tndhms -p 52745

また、標準クライアントを起動するには、同じく「コンピュータ大貧民の実行」ページの通りの手順でクライアントを起動した。実行するには、以下のコマンドを実行する。

 $_1$ \$./client -p 52745 &

課題5の実行結果



課題6 (ペア出し機能の実装)

コンピュータ大貧民教育用クライアントのディレクトリ src にある、select_cards.c などを改変し、ペア出し機能を実現した。この課題では、場にカードがない状況で、かつ提出するカードにジョーカーを含まない場合について実装した。実装が完了したら、大貧民サーバを立ち上げゲームを実行し、ペア出しが行われている様子がわかるスクリーンショットを取得した。(サーバの実行画面中のクライアントプログラムが Normal と表示されているか、確認した)。

また、実現したペア出し機能について、以下の考察を行った。

- 1。配列をどのように使って処理をしているか。
- 2。該当するソースコードの記述によって何故その機能が実現できているのか。

課題6の実行結果

参考文献

[1] 第2回 動的データ構造と再起処理(スタック、二分木),

 ${\rm URL: https://www.ied.inf.uec.ac.jp/text/laboratory/C/second_week/index02.html}$